



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♠亦1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

第68回 例会 昭和51年11月29日（月）於海南商工会議所（ガバナー公式訪問）

1. 開会司会 谷井昭三

2. ロータリーソング 「奉仕の理想」

3. 出席率 92.59% 会員総数 27名 出席者数 25名
前回修正出席率 96.3%

4. ゲスト 第366地区ガバナー 藤沢元雄様

5. ビジター 梅本精男様（御坊南R.C.） 山中 静様（和歌山南R.C.）
石井純治様（和歌山東R.C.） 玉置 勇様（海南R.C.）
松村順介様（有田R.C.） 重根 豊様（〃）
御前昌一様（和歌山東R.C.） 松本庄蔵様（和歌山東R.C.）

6. メイキャップ 松田君、中村俊君（11/25 東京神田R.C.にて）

7. 会長挨拶

◎ 第366地区ガバナー藤沢先生には早朝より非常に忙がしい中をおこし頂きまして会長、幹事に対する個人的御指導やクラブ協議会と非常に長時間に亘り懇切なる御指導を賜わりまして有難度うございました。

そして亦例会にて後程先生の御講話を賜わる事になっています。先生の御経歴に就きましては皆様既に御承知の事と存じますが、ロータリーの友7月号でも詳細に掲載されております。我々R.C.の認承状伝達式と共に致しました和歌山西R.C.の生みの親である和歌山R.C.から特別代表としまして尽力されましたが我々のスポンサークラブ海南R.C.からガバナー特別代表になられました玉置勇様も本日御見得になっておられまして、奇しくも両ガバナー特別代表の御顔合せでございます。本日のガバナー公式訪問で御伺いして思いました事は、ガバナーの役職はほんとうに大変な仕事だと云う事でございます。公式訪問で廻るクラブ丈でも78ヶ所と聞いていますし、他にもロータリーの種々の会合に出席されましてガバナーとしての責務を果たされているわけですが、御見受けした先生の堂々たる体躯をもってしても御苦労の程を御推察申し上げます。そして亦お忙がしい職務を果たされた後でもドクターとしてのお仕事を非常に大切にされ公式訪問から帰院された後は患者の診察に当られているとのお話を承わりまして、此れこそ職業奉仕のお手本を自ら示されているように思いました。我々と致しましては折

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」 ロータリーを私は信奉する

角いただきました御指導を旨と致しまして、海南東R.C.の強化を計りロータリーの発展に一層の努力を致したいと思います。

8. 幹事報告

◎ 例会臨時変更通知

藤井寺R.C. 12/18(土) を12/19(日) 16:~00於大阪ロイヤルホテル
堺南R.C. 12/20(月) を12/18(土) 16:40~ 大阪ロイヤルホテル

9. ニコニコ箱 楠部君、平尾君、岸君、(親睦委員として初タスキ)

10. 委員会報告 中尾職業奉仕委員長

『私の職業奉仕事例集、を作りたいと思いますので来年1/10締切迄にアンケートよろしくお願ひ致します。

11. 御 講 話 才366地区ガバナー藤沢元雄先生

◎ マンチェスターR.I.会長が自分の方針として、今年一年をどうしようと云うことについてボカラートンで或いはニューオリンズで前後5回彼の講演を聞きました。其要旨をお伝えするのがガバナーの公式訪問であるが必らず此れだけは伝えねばならないと云う義務があります。彼は講演の中で『I believe in ROTARY』と云う言葉を良く使った。挨拶代りに迄使った程である。

『I believe in God』、『I believe in ROTARY』、『I believe in you』、丁度一つの句のように、歌のように、詩のように幾度となく講演の中で云われたがなぜと云えば、あなたはロータリアンであるからだと云われた。私は『I believe in ROTARY』の真意を地区に持ち帰ってどのように説明すれば良いか迷っているとの質問にそれはサービスだと答えられた。ロータリーはサービスであり、サービスはロータリーである。職業奉仕を主体とした奉仕団体はロータリーだけである。ロータリーの主体は職業奉仕である。職業奉仕である以上職業分類、これがロータリーの本体である。

世界中の人が自からの職業をもって亦その職業から選ばれ代表してR.C.に入っている。貴方の職業をもう一度見直して欲しい。原点にもどり自らの職業を鏡に写して、もう一度見て欲しい。そしてそれに依って行われる職業奉仕は懐に入れられたままではないかダイヤモンドに懐に入れたままでは輝やきを知らない。外に出して初めて輝やくのではないか。其皆様の懐に有る職業奉仕を外に出して輝やかしてくれ。そして此の職業奉仕が奔流となって流れ出る時、其支流として流れ出る青少年奉仕があり、社会奉仕があり、国際奉仕があり、会務奉仕があるのだ。総ての奉仕が滔々として流れる大激流となって地球を覆い尽くしたその時に世界人類の最後の要望である、世界平和が実現するのだと話されましてどうか帰国された暁には各ロータリーの方々が皆手に手を結び一人でも多くの同志を作って、ロータリアンで地球上を覆い尽くすばかりに頑張ってほしいのだ。其時に全人類が肉体と家庭を平等に全員に与えられると云う完全に補償された世界これが全人類の一番幸福な形ではないか。そう云う幸福を得られるのは奉仕以外に絶対にないのだと力説されまして、彼は講演の終りに幾度かアメリカの二世アルパート、シュバイターの言った『唯此の一つ丈は私から、はっきり申上げられますそれは皆様の中で真実の幸福が得られる方があるならば如何に幸福にすべきか追求しそれを発見した丈である、此れをマンチェスターはシュバイターの幸福論と云っていました。

どうか全世界のロータリアンの方々・自からの奉仕を追求して奉仕を発見して奉仕を実行する事によって皆様が御幸福になられる事を祈ってやまない。此の一年を此れに一生懸命に捧げるつもりである。どうか皆様も私と一緒に御協力願えないだろうか。此れがマンチェスターの講演内容であるが非常に示現の高いものでして奉仕に対する解釈も高度なものであり、人間は人から与えられたものは得で無くなる。最後に残るものは人に与えたものだけである。我々は天に奉仕するのだ。神に奉仕するのだ。相手の人をものともしないのだ。相手の人からの御礼を貰わないのだ。私達の奉仕は天へ宝を積む事にあるのだ。と非常に示現の高いものでした。彼は講演の中で何度も何度も私にはターゲットはない。私にはモットーはない。私のモットーは私のターゲットはロータリーの綱領である。私は唯これを世界のロータリアンにメッセージとして贈ると云われました。其後彼は此9月の末から10月にかけて北海道、東北方面の5ブロックの合同地区大会に出席し I believe in ROTARYについての講演をしましたが其の中であなたの職業だけではなく、あなたの属している組合やあなたの背後にいる団体の職業道徳の倫理にもあなたは責任がある。あなたは組合や団体の職業道徳倫理の向上のためにも奉仕をしなければならないのだと述べられ無限の力を要し、我々一人一人には大変責務だなあと感じました。マンチェスターは10月5日来阪され我々は西日本合同歓迎会を開きましたが、其講演の中では私はロータリーライフを愛する。ロータリーを愛する事によって、サービスをしっかりとやる事によって利潤を上げて下さい。最も奉仕するものは最も報いられると言ふ内容でございました。私の一番印象に残った講演は I believe in God に初まった講演でした。彼の何回かの講演内容を皆様に御話し、彼のメッセージとしてお伝え致します。

クラブ協議会（10時～12時30分）

◎ 吉田会長挨拶

本日は早朝より藤沢ガバナーをお迎えして私と片山幹事と柳川副会長を交えて個人的に親しく御指導を賜わりました。此れからクラブ協議会に移るわけですが各委員長がクラブの運営等につきまして藤沢ガバナーの御指導をいただき、クラブ活動を円滑に正しく推進するための重要な協議会でございます。御承知の通り藤沢先生は地区内で唯1人のR.I.の役員でありそして亦地区的最高責任者でございまして、我々には最高の敬意を払うべき方であり、我々クラブの最高の助言をいただくべき人であります。各委員長の皆様には積極的な活潑な発言質疑をしていただきたいと思います。藤沢先生には私達のクラブは創立後、日も浅く不明の点到らない点等非常に多い事だと思いますのでよろしく御指導の程お願い致します。以上開会の言葉と致します。

◎ 藤沢ガバナー挨拶

ガバナー公式訪問と云いますと昔は各クラブにとって怖いものとしてガバナーが各クラブの欠点を見出して強力な指導をしたものですが、最近は全く逆になり各クラブで虐められないかガバナーの方がピクピクするような状態である。私達の受けた教育は各クラブで、お困りの点を御手伝いする様に教育を受けている。良い事悪い事何でも相談していただいて結構です。此の訪問の報告書はR.I.に英作文して24時間以内に送る事になっています。

◎ 発言順位 中尾職業奉仕委員長、松田社会奉仕委員長岡田青少年奉仕委員長、宮田環境委員長、田岡国際奉仕委員長、山田世界社会奉仕委員長、米山記念奨学会（片山幹事代行）山野ロータリー財団委員長、柳川会務奉仕委員長、土岐出席委員長、中村隆職業分類委員長、坂上会報委員長、中村雅親睦活動委員長、楠部雑誌委員長、前窪会員選考委員長、奥村会員増強委員長、角谷プログラム委員長島村広報委員長、上田ロータリー情報委員長、谷井会場監督

◎ 藤沢ガバナー指導語録

- ・ 職業奉仕委員会
- ・ 地区情報研究会や地区協議会の勉強はどこ迄も参考資料であり、あなたが委員長の此の年度に是非やりたい事を選び活動方針として下さい。
- ・ 職業道徳の向上についてはマンチェスターR.I.会長が一番力説されている。職業を代表した貴方自身が其職業を代表した人として恥かしくないかどうか、もう一度貴方自身が原点にかえって自らを省みるべきである。
- ・ 職業奉仕は職業で奉仕すべきだ。会員おののが奉仕すべきで当然利潤の提供は伴うと思う。自分で自分が此れを職業奉仕と思うと云う巾広い解釈の職業奉仕と考えて良い。手続要覧
- ・ クラブで『私の職業奉仕事例集』を作つてお互いの勉強の糧とせよ。

◎ 社会奉仕委員会

- ・ ロータリーの社会奉仕は会員おののが奉仕を学ぶ場所として、社会奉仕委員会が存在し奉仕を身に着ける為の奉仕を勉強する為の奉仕を会得する為の訓練場である。
- ・ 人間には人から与えられたい、人から提供を受けたいと云う心理と、人に差し上げたい、人に提供したいと云う心理とが交さして我々の心理として働いている。それに一つの滑らかな調和をもたらすのがロータリーであり、これがロータリーの奉仕の哲学である。
- ・ 社会奉仕委員会の事業計画は1年で完了されるべきものである。継続される事は望ましくない。1年毎に委員長が事業を計画し奉仕を学ぶ機会を造るのが目的である。
- ・ 大きい事業については会員個人の参加によって別個に継続されてゆかねばならない。

◎ 青少年奉仕委員会

- ・ 青少年奉仕は継続して行わねばならない特性を持っているため、社会奉仕部門から分かれ別個のものとしている。
- ・ R.Y.L.A.は10年前にオーストラリヤで行われた運動だがニュージラント——フランス——アメリカ——日本に入って来た。ロータリー、ユース、リーダーシップ、アワードの意味で日本では青少年指導者セミナーとも青少年指導者講習会とも訳されている。

オ366地区ではオ2回目を去10/12～10/17の一週間に亘り大阪府淡輪で行われたが大変な盛況だった。今後益々発展していくと思うので此の運動のある事を覚えておいてほしい。

次週へづく

次回例会案内 昭和51年12月6日(月) 18:30～於東邦荘

クラブ年次総会